



志津南

9月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (7/31 現在)
世帯数 2,489 総人口 6,631 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

市クリーンセンター ごみ直接持ち込み予約制へ



草津市立クリーンセンターへのごみの直接持ち込みは10月1日(金)より事前の予約が必要となります。クリーンセンターでは、これまでから、土曜や祝日・その前後などは非常に混雑しており、長時間待たなければならぬ状況が続いていました。

予約方法については電話またはインターネットによる受け付けを予定しています。なお、9月30日(木)までは、これまでと同様に

予約は不要です。スケジュール
9月1日(水)より
10月1日(金)より
事前予約によるごみの持ち込み開始(これ以降は、予約がなければ持ち込むことはできません)

クリーンセンターへごみの搬入を検討されている方は、必ず市のホームページの注意事項をご確認ください。

資源循環推進課 資源循環推進係(クリーンセンター)

引換券9月未期限

現在、各家庭にお持ちの「草津市指定ごみ袋引換券」の有効期限は、9月30日(木)までです。

期限を過ぎた引換券は使用できませんので、ご注意ください。

10月1日(金)からは、新しい引換券のみ、交換が可能です。

まん延防止措置発令

8月8日から9月12日までの間、滋賀県が「まん延防止等重点措置」の対象地区に指定され、これを受け

草津市では施設の貸館などの対応方針が示されました。志津南まちづくりセンターでは、午後9時までの利用時間が1時間短縮されて午後8時までとなり、人数制限も最大収容人員の50%となりました。

当センターでは、人数制限の対象になる団体はなく、夜間利用の時間が短縮されるのは5団体でした。

今後、9月上旬にデータ入力を済ませ、集計作業にとりかかります。その後分析を行い、結果を報告できるような日程調整を行い、提言書の提出に結びつける予定です。

録画放映で、人権を学ぶ参加者たち



志津南学区人権トーク推進第1・第2講座(町内学習懇談会推進者研修講座)

が7月24日、志津南まちづくりセンターを会場に草津市主催で開催されました。

例年は、草津クレアホールで草津市全体の推進委員や町内会長が集まって開催されていましたが、コロナウイルス蔓延の影響で、昨年は中止、今年は学区単位の開催となりました。志津南学区の13町内会の人権推進委員

と町内会長対象に参加要請18人が参加しました。

第1講座は山本啓一氏(部落解放同盟草津市協議会橋岡支部副支部長)が「部落差別の現実と学ぶべきまだある結婚差別」と題し、豊臣秀吉の時代まで遡って部落差別が生まれた背景について話をされ、現在の部落差別問題の原因の一つになっていることに気づかされました。最近NHKで四国において人形浄瑠璃を行う家があり、文化伝承とは別に部落民としての扱いを受けていることを知りました。

最近の若い世代ではあまり気がつかない問題ではあります。古くからの情報等は風化しているようでいてまだ残存しており、偏見(部落問題)がなくなっていないことに、気づきました。

その上で、そのような部落に住んでいる方々との結婚には、現在でも障害や問題が顕在していることを学びました。これをどう解決すべきなのか?非常に憂うべき問題が現在なお存在していることを考えさせられました。

第2講座には松村智広氏(みえ人権教育・啓発研究会代表)が「へこたれへん・人はきつとつながれる」と題し、講師の身内の方(祖母)が、部落出身で教育を受けられず、また、その後の人権教育の取り組みによって差別が徐々に解消されてきたということをお話されました。時代背景は、講師が60

人権トーク推進講座 学区で開催 教育、学ぶことの大切さ知る

意見をお聴くためのアンケート調査を実施しました。

アンケートは各家庭に配布され、8月21日で回収が締め切られました。アンケートに協力いただいた住民の皆様、ありがとうございました。

今後は、9月上旬にデータ入力を済ませ、集計作業にとりかかります。その後分析を行い、結果を報告できるような日程調整を行い、提言書の提出に結びつける予定です。

草津市では施設の貸館などの対応方針が示されました。志津南まちづくりセンターでは、午後9時までの利用時間が1時間短縮されて午後8時までとなり、人数制限も最大収容人員の50%となりました。

当センターでは、人数制限の対象になる団体はなく、夜間利用の時間が短縮されるのは5団体でした。

ふれあいアンケート調査行われる

まん延防止措置発令

今後の予定

台風など二次災害対策を

若草五丁目町内会(増井雅子会長)では、8月9日の台風9号の際、事前に確認し合っていた対応策に沿って、安全確認などを行いました。



令和3年度の町内会役員会の初めに環境美化委員から「過去の大型台風時、若草地区にも多くの被害が出た。その際の教訓から役員会の中で対応について共通認識を持ち、備える必要があるのでは」と提起され、6月の役員会で2018年の台風21号の際を参考にしながら協議しました。そのため、今回戸惑うことなく対応することができたと思えます。

おそれありと市に連絡
 ▽8月8日 市により高木枯れ枝の剪定実施
 ▽5丁目役員会ラインで全員に報告と連絡
 ▽8月9日 昼すぎに台風が最も近づくとの情報。朝、巡回確認と清掃実施。夕方、通過後の被害確認。中央公園藤棚の一部で枝が折れ、垂れ下がり、小枝があちこちで折れ落ち、散乱。一ヶ所に拾いとめる。
 ▽8月10日 藤棚の垂れ下がった枝の剪定と掃除
 今回は被害も少なく安堵しましたが、これからも台風や災害に備える必要があります。常に情報交換をしながら、役員間の連絡を密にし、一人ひとりが可能な

花壇の水やりに善意の輪

範囲で、持てる力を寄せ合いながら、台風通過後の安全確認や二次災害防止に努めることが大切と考えます。(若草五丁目町内役員会)



今春の美しい中央公園花壇

このほど志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)が住民の皆さんに、若草中央公園花壇の水やり協力をお願いしたところ、84人の方から協力の申し出をいただきました。
 中央公園花壇は、花ボランティアの方々から長年にわたり四季折々の花を植え、草取りをし、夏季には水やりをし、公園の利用者や若草診療所の患者さんの「心の安らぎの場」となっています。

ました。が、花ボランティアは一昨年、会員の高齢化に伴って解散されました。長年の活動・功績に感謝しつつ、活動を無にするこ

な活動にも関わらず多数の方のご協力をいただき、感謝しあげます。
 当地区も高齢化と終息の見えないコロナ禍の中、自治会活動も見直す時期にあります。町は一過性でなく、将来に繋がっていくか、ぜひ必要ありませんし、繋いでいく責任もあります。

志津南文庫

毎日コロナ感染に気をつかい、ストレスもピークになっていませんか。
 音読はストレス解消になるそうです。今回は川柳や脳トレの本を集めています。大きな声を出す事で少しでもリラックスしてみませんか。
 他にも推理小説など多々おいていきます。

追分八幡神社 茅の輪くぐり行われる



追分八幡神社の境内に7月24日から28日の間、茅の輪が設置されました。写真。例年八幡神社では夏の「涼みの湯たて」神事を執り行っていました。そこで昨年から「コロナ禍における疫病や災厄を祓おうと茅の輪くぐりが今夏からおこなわれることになりました。追分・追分南町内会から多くの人が訪れていました。

追分八幡神社の境内に7月24日から28日の間、茅の輪が設置されました。写真。例年八幡神社では夏の「涼みの湯たて」神事を執り行っていました。そこで昨年から「コロナ禍における疫病や災厄を祓おうと茅の輪くぐりが今夏からおこなわれることになりました。追分・追分南町内会から多くの人が訪れていました。

茅の輪神事の由来
 釈日本記「備後風土記逸文」によると、和銅6年の蘇民将来の故事が由来とされています。
 蘇民将来がスサノオノミコトの教えに従って腰に茅の輪を下げたところ、子孫代々に至るまで災い無く栄えたということから、今では夏越しのおおりに茅の輪をくぐり半年に茅の輪をくぐり半年の罪穢れを祓い、夏以降の疫病や罪穢れ除けを祈願します。



ベンチもお色直し
 ボランティア有志が、若草中央児童遊園に設置されている「かまどベンチ」の安全カバーと、砂場で遊ぶ未就園児たちの保護者が見守りながら休息するためのベンチ2脚を、劣化防止のためペンを塗布し、きれいな状態を復元しました。

しなやかな動きに魅了

しなやかな舞を鑑賞する学級生



踊のみのり会(多賀野八重代表)、マジックの中嶋勝治さんを招きました。

第一部では、すてきな衣装で「望郷ながれ歌」「雨の香林坊」「まぶたの母」「長良川舟歌」「あーあんな川」の5曲の舞踊を披露していただきました。しなやかな

やすらぎ学級第3回講座が7月28日、志津南まちづくりセンターで開催され、学級生17人が参加しました。

「踊りとマジックで元氣はつらつ」と題し、講師に舞

で美しい動きに、受講生も終始見入っていました。

第二部では、スカーフや水を使用したマジックから卵や傘を使ったマジックまで、次々に披露されるパフ



今年も ようやく 長い夏休みが終りまし

もの夏なら、さあプールだと家族や友達と夏を楽しむのですが、このコロナ禍ではマスクなしのプールは今年も縮小傾向。昨年に続いて、志津南小学校でも高糖

止を残念がる声は特に小学生から聞こえていました。この水泳の中止、なんと

に巻き込まれたとき、自分の身を守ることができないってことだ!ということに今更気づいたのです。2年間、何も体験してないうちに、来年の事も先行き不透明な今、家庭や習い事で泳ぎを教えていかなければ

プール

は生きていくための力をたくさん教えてもらっている

オーマンフに受講生も歓声や笑い声をあげていました。

第三部では、「夫婦ちゃんりん」「海賊の舟唄」「佐渡



元氣いっぱい



人気の「輪投げコーナー」

ならないのかもしれない。志津南小学校では一昨

まで着衣水泳も行われていました。子どもたちは楽しそうでしたが、その中でし



っかり生きたのだ

と改めて実感した夏となりました。(なっちゃん)



100%の笑顔

ボランテュアグループ「もっこもこ」(花澤佳代子代表)は7月29日、まちづくりセンターで「子どもお楽しみ会」を開催しました。

小学生や未就園児とお母さん達30人が、4か所の体験型遊び場コーナー(割りばし鉄砲づくり・的当て・輪投げ・スパーボールすくい)を回り、元氣いっぱい楽しく過ごしました。

「割りばし鉄砲づくり」は一袋にセットされた材料で鉄砲を組み立てることから始め、色を塗ってしあげ

ました。完成した鉄砲で「的あてコーナー」へ。当たるたびに歓声を上げ、「5回も当たったよ」とスタンプカードにシールを貼る子ども

たちは達成感に満ちた表情でした。

「輪投げコーナー」は3ヶ所あり、小さいお子さんが軍手で作った動物に夢中で、何度も繰り返す姿がとても微笑ましかったです。テラスには「スパーボールすくいコーナー」。やはり夏といえば水遊び。あま

楽しい講座に参加できて、とてもすてきな時間を過ごすことができた」との声を聞くことができました。

りにもたくさんすくえるので持ち帰りに制限をかけるほど大繁盛でした。

子どもたちは最後に、お菓子の入った可愛い小袋をもらい「ありがとうございました」と満足度100%の笑顔で帰って行きました。

スタッフも「また遊ぼうね」と笑顔で見送りました。コロナ禍の中で心配しましたが、子どもたちにひと時でも楽しい時間を提供できたのではと、とても充実した日となりました。

ボランテュアグループ「もっこもこ」は、この5月、

保健師さんを招いて

かがやきの丘地域サロン「なごみ会」は7月15日、町



学区社協のもと立ち上がり、未就学児・小学生を中心に、高齢者も対象にしています。興味ある内容を企画し、遊びの場、集いの場を提供し、活動を通して笑顔あふれる世代間交流

の場や、地域づくりをめざします。市社協の「コロナでつながりを広げる補助金」の応援も受け、年間に数回の集いを企画し、活動を進めていきます。

内会館「きらり」で地域担当保健師の河邊愛さんをお招き、コロナ感染予防の話をしていただきました。写真。問「なんでコロナという名前が付いたのですか?」答「コロナとは王冠という意味で、このウイルスは王冠のような突起があるからです」

クイズをまじえての分かりやすい話と、頭と体の軽い体操をして楽しいひとときを過ごしました。

がんばる地元のお店にエールを

打撃を受けている地域経済の活性化を図る目的で、次の要領で「草津市応援チケット事業」を実施します。

参加店舗で販売されるチケットは1冊2000円ですが、500円券6枚綴りで3000円に相当します。

使用されたチケットのプレミア分を市が負担する仕組みになっています。▽販売期間 9月1日(水)〜12月31日(金)

応援事業のホームページ画面



▽使用期間 10月1日(金)〜12月31日(金) ▽参加店舗 専用ホームページに記載 (<https://katsusi.pnn-shohinken.com/>) 尚、チケットは販売された店でのみ使用でき、購入は一人あたり一日一冊、草津市民に限られます。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の状況などにより、延期・中止・延長される場合がありますのでご注意ください。

ぼくたち未来のプログラマー



志津南まちづくりセンターは8月11日～13日、子ども達を対象に夏休みプログラム「Scratch」を開催し、延べ10人が参加しました。講師に立命館大学学生団体「Ritec h」(守屋亮太代表)を招き、小学3年以下・小学4～6年・中学生に日をつけて行いました。

ゲーム作りを教わる子どもたち



小学生はScratchを使い、ゲームを作りました。Scratchはビジュアルなプログラミング言語で、コードが書けなくても直感的な操作が可能になっています。初めは緊張気味だった子ども達も、自分の指示通りに画面を動かせることに目を輝かせ始め、次第に画面に夢中になっていきました。色を変えたい、背景を変えたいなどのアイデアも飛び出し、そのやり方を教えてもらいました。

中学生はhtmlやcssの言語を教わり、ちょっとしたプログラム。大人もなかなか好評でした。

顔負けのキータッチであったという間に、サイトづくりの要領を教わりました。参加した子ども達は「楽しかった」と口をそろえ、講師のお兄さん達ともすっきり仲良しになり、「もっとやりたい」となかなか席を立ちませんでした。これからの時代に必須の論理的思考を楽しみながら身につけてくれたらと話していた守屋さんも「楽しい時間でした」と笑顔でした。初の試みでしたが、初日にはZTVの撮影も入り、なかなか好評でした。

ものづくり講座募集

志津南まちづくりセンターでは、秋より新たにスタートする「ものづくり講座」をお家ライフをオシャレに楽しむための4回連続講座の受講生を募集します。講座内容は、「作って楽しい&置いても楽しい」をキーワードに、気持ちも生活もワンランクアップできるよ



うな、可愛くオシャレなものづくりを目指します。

※欠席による受講料の返金はありませんが、材料をお渡しします。



「ものづくり講座」の4回連続講座の受講生を募集します。

▽開催日
第1回 10月5日(火)
第2回 11月2日(火)
第3回 12月7日(火)
第4回 1月11日(火)

▽参加費 4千円(1講座千円×4回) 材料費込み

▽対象 草津市在住在勤の方(原則全4回参加できる方)

▽申し込み 志津南まちづくりセンター

▽会場 志津南まちづくりセンター

▽時間 13時30分～15時30分

▽申し込み 志津南まちづくりセンター

▽申し込み 志津南まちづくりセンター

▽申し込み 志津南まちづくりセンター

▽申し込み 志津南まちづくりセンター

資源回収
 □毎月第1・3日曜日
 ★若草1～5丁目町内会
 □毎月第2・4日曜日
 ★若草6～8丁目町内会
 □毎月第2・4土曜日
 岡本町西町内会

★かがやきの丘町内会
 □毎月第1・3土曜日
 ★フォレストローズ子供会
 □毎月第2日曜日
 □高山子供会
 ※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・ウエス

昭和6年から滋賀県畜産組合連合会主催で行われ、昭和14年からは軍馬資源保護法交付に従い、鍛錬馬競争が実施され、地方競馬開催は中止されました。が、戦後昭和21年に地方競馬法交付で再開され、昭和23年から滋賀県が引き継ぎ、県営競馬として昭和26年まで開催されました。



昭和6年秋季・滋賀県畜産組合連合会・優勝馬投票證

省線草津駅からのアクセスも良く、スタンドは木造でしたが、2万人収容でき、レース開催日ごとに数万人のファンが訪れるほどの盛況だったと伝えられています。



木造メインスタンドと走路

競馬場の話
 近くには草津温泉という映画館併設の娯楽温浴施設があったことも、今では遠い記憶になりつつあり、本当に昭和は遠くなりました。(野津 隆)



競馬場平面図とその位置



昭和6年から滋賀県畜産組合連合会主催で行われ、昭和14年からは軍馬資源保護法交付に従い、鍛錬馬競争が実施され、地方競馬開催は中止されました。が、戦後昭和21年に地方競馬法交付で再開され、昭和23年から滋賀県が引き継ぎ、県営競馬として昭和26年まで開催されました。

競馬場の跡地は「E1スクエア」となり、痕跡はどこにも見当たりません。現在のショッピングセンターが、かつては庶民の娯楽と享楽の場所だったとはあらためて驚かされますね。